

① 「なぜ景色や花は美しく見える？」眼科医会会長が幼少期に抱いた疑問

<https://news.1242.com/article/219017> By - NEWS ONLINE 編集部 公開：2020-04-13

ニッポン放送「すくすく育て 子どもの未来健康プロジェクト」(4月12日放送)に、日本眼科医会会長の白根雅子が出演。自身の子供のころの話語った。

・淵澤由樹 (アシスタント)：子供のころ、音楽を勉強されていたそうですね？

・白根：小さいころからピアノを習っておりまして、中学校に入ってからにはピアノを続けながら、学校でオーケストラクラブに入って、バイオリンを楽しく演奏していました。

・淵澤：将来、音楽の道へとは思わなかったのですか？

・白根：高校2年生の途中までは、音楽大学を目指して勉強していました。でも周りを見渡すと、「ずいぶん才能のある方がいらっしゃるな」と感じて、音楽は楽しみに取っておく方がいいかなと、進路を変更しました。

・淵澤：お医者さんを目指したきっかけは？

・白根：子供のときから自然科学に関心がありました。学校の先生に「理科系が向いているんじゃないか？」とアドバイスをいただきまして。

・淵澤：お医者さんのなかでも、「眼科医」に興味を持たれた理由は？

・白根：私は音楽も好きだったのですが、絵も好きで描いていました。絵を描くときは対象物を見るわけですね。景色だったり、自然の花だったりいろいろありますが、それがとても美しいのです。「どうしてこんなに美しく見えるのだろう？」と不思議に思い、また学生時代に眼科の授業を受け、とても神秘的だと感じたので眼科医を選びました。

・淵澤：なるほど。この番組では、子供のころに出会った1冊の本についてお伺いしています。

・白根：「ナルニア国物語」シリーズです。全7巻あるのですが、何回も読み直しました。いま読んで面白いです。

・淵澤：それで空想力などが培われたのですか？

・白根：自覚はありませんが、枠にとらわれないという考え方は学んだかも知れません。